

辺野古新基地建設、参院選終え再び強行!!

国政選挙が終わったとたんに、特定秘密保護法の制定や集団的自衛権の行使容認などの「不人気政策」を、選挙では触れず・隠して、一気に進めるのが安倍政権の常套手段です。今回も、参院選では触れず隠していた改憲、辺野古新基地建設、社会保障切り捨てなどを一気に強行し始めました。

沖縄では、米軍普天間飛行場の辺野古への移設計画をめぐる安倍政権と沖縄県との争いが、5日、再び法廷に戻りました。翁長知事の辺野古沿岸部の埋め立て承認取り消しの撤回を求め、石井国土交通相が翁長知事を訴えた違法確認訴訟の第一回口頭弁論が、和解から5ヵ月、福岡高裁那覇支部で開かれました。



これに対応して、7月の参院選前は柔軟な姿勢を見せていた政府が、一転、強硬姿勢路線にかじを切り換えました。菅官房長官は、「問題と沖縄の振興問題は、政府として総合的に推進していく意味が大きい」と、5日の記者会見で強調し、普天間の移設作業場、沖縄振興予算を減らす可能性があるとし唆しました。「言いかねば、金減らす」との呆れた対応で、辺野古移設に反対する県民や沖縄県民に圧力をかけ、移設工事の再開に向けて事態を動かす狙いが透けて見えます。

繰り返しています。13年12月に新たな基地負担振興軽減策をまとめた。毎年3千億円台を確保することを決定し、あの仲井間弘多知事や辺野古の埋め立てを承認させるなど、露骨な対応を進めまわっているのです。

しかし、沖縄県民はこの露骨な札束をちらつかせる政策に、きっぱりと「NO!」を突き付けて来ました。今回の参院選でも沖縄県民は島尻大臣を大差で落選させ、移設反対派の伊波氏を当選させたのです。

このような中でも、県民の意思は無視して、安倍政権は「今までは建前の世界だった。これからは本音でいく」（官邸幹部）と沖縄に強い姿勢で臨む考えで、参院選後ただちに強硬に出ています。

蓮舫氏、民進党代表選に出馬 共闘継承、改憲議論の姿勢示す

5日、民進党の蓮舫代表代行は記者会見し、9月2日に告示、15日に投開票される民進党の代表選への立候補を表明しました。そのなかで、蓮舫氏は共産党などとの野党共闘を進めた岡田克也代表の路線を継承する考えを示しました。また、憲法改正については「9条は絶対に守る」としつつ「(国会の憲法) 審査会が動いたら積極的に参加する」と主張しました。しかし、民進党が参院選で掲げた「安倍政権下での改憲阻止」との整合性も問われる主張です。

蓮舫氏は会見で、次期衆院選に向け、共産を念頭に「政権選択選挙で、綱領や政策が違うところと一緒に政権をめざすことはあり得ない」と明言し、一方で、野党間の選挙協力については「これまでの基本的枠組みは維持」とし、継続する姿勢を示しました。また、安倍晋三首相が意欲を示す改憲をめぐることは、衆参両院の憲法審査会での議論に肯定的な立場を示し、「必要に応じて党内で議論し、提言するのは当然の成り行きだ」と述べました。

さらに、首相が進めるアベノミクスについては「分配の成果が出ていない」と批判し、「民進の政策が国民に伝わり切れていない。自分の発信力で変えていきたい」と表明しました。このように政権との対立軸を打ち出す意欲を見せています。

稲田防衛相 「ゴリゴリの極右政治家」

第3次安倍再改造内閣の「目玉人事」が、稲田朋美防衛相就任とされています。しかし、各メディアは「得意分野とはいえない」「不安の声も上がる」などの疑問を投げかけ、中には「ど素人の防衛大臣」と批判する新聞もあります。各報道を読むと、稲田防衛相は「安倍を凌駕するタカ派」「ゴリゴリの極右政治家」と評価しています。

「核保有を検討すべき！」

5日の記者会見で、日本の核兵器保有について「憲法上、必要最小限度がどのような兵器であるかということに限定がない」と、憲法9条で禁止しているわけではないとの見解を述べました。ただ、「現時点で核保有はあり得ない」としつつ、「未来のことは申し上げる立場にない」とも語っています。

稲田氏は、「正論」2011年3月号に掲載された元空将・佐藤守氏との対談で、独自の核保有を単なる議論や精神論ではなく国家戦略として検討すべきではないでしょうか」と主張しています。



徴兵制にも積極的!しかし、わが子には…

「自分の国を守るためには、血を流す覚悟をしなければならない」「この国のために命を捧げる覚悟をもう一回取り戻そう」と発言している稲田氏は、徴兵制について「教育体験のような形で、若者全員に一度は自衛隊に触れてもらう制度はどうですか」と提案し、その上、「草食系」といわれる今の男子たちも背筋がビシッとするかもしれませんね」と述べています。

また、産経新聞6年9月4日では、「(エリートの条件は)いざというときに祖国のために命を捧げる覚悟があることと言っている。そういう真のエリートを育てる教育をしなければならない」と述べています。しかし、他の場面では、「私にも大学生の息子がいますが、赤紙で徴兵されるのは絶対に嫌です」と述べています。あきれさせてしまいます。

韓国鬱陵島視察を計画 反韓活動者として入国拒否される!

11年8月には、佐藤正久参議院議員らと、竹島へとわたるフェリーが出る竹島北西の韓国鬱陵島(ウルルンとう、うつりょうとう)視察を計画。混乱を懸念した韓国政府から、反韓活動者として「ペルソナ・ノン・グラータ(外交上好ましからざる人物)」との通告を受け、金浦空港で入国を拒否されました。

また、高市総務大臣とのネオナチ団体の代表とのツーショットの写真が、2014年9月に全世界に配信されました。稲田氏は、「写真を一緒に撮ったが何者かは知らなかった」と弁明しています。

さらに、ヘイトスピーチで知られる在特会の関連団体である「なでしこアクション」主催の「慰安婦問題を糺し毅然とした国の対応を求める国民集会」というイベントに登壇しており、2007年に

は「従軍慰安婦」について、「慰安婦は、当時は合法であった。強制性はなかった」と言い切っています。

靖国参拝、今年はどうするか、言及避ける!

5日の記者会見では、8月15日の終戦記念日に合わせた靖国神社の参拝について聞かれ、「心の問題だ。安倍内閣の一員として適切に行動したい」と答弁しています。稲田氏は前から「この問題は心の問題であって、行くか行かないとか、行くべきだとか行くべきでないとか、そういうことを言うべきではないと思っている」と述べ、この間、長年参拝してきたのに、今年参拝するかどうかは言及を避けています。しかしA級戦犯を祀る靖国への参拝は、閣僚にとって「心の問題」で済まされるものではありません。


各地のとくくみ

大阪憲法会議

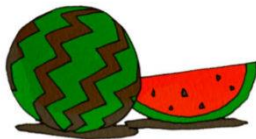
8月9日にパレード実施

「憲法9条を守りたい!」の思いで毎月9日に歩く市民のパレード♪
9の日パレード

 日時 2016年8月9日(火)

 集合場所 駅前広場(中之島公会堂前)

日本国憲法
第2章 戦争の放棄
第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。



わたしたちも9の日パレードに賛同します
安斎野郎(立命館大学国際平和センター7名委員長)
小門実(成人・作家) 佐倉直(評論家)
松浦栄子(百穂所長臨時委員) 森岡海子(デザイナー)

♪風船代など必要経費のためのカンパをお願いします♪
(カンパ募込先) みずほ銀行・天満橋支店
普通口座 118635
口座名義: 9の日パレード市民の会

9の日パレード市民の会 (事務局責任者 弁護士 公益社)
TEL: 06-6946-4910 FAX: 06-6945-0691
E-mail: tsuji@ohtemae-law.jp http://www.geodties.jp/parade9osaka/ (作成 Y・T)

兵庫憲法会議

憲法改悪阻止兵庫県各界連絡会議の「憲法しんぶん」によると、憲法改悪ストップ兵庫県共同センターは代表津川和久氏の名前で

「衆参ともに改憲派三分の二という状況、幅広い共同を各地域で強め『戦争法廃止・立憲主義回復・名分改憲反対』を実現していきましょう」とのアピールを出しました。

その中で、「これまでの運動に確信をもって『戦争法廃止・立憲主義回復・明文改憲阻止』をめざそう」と呼びかけています。

具体的には、地域・職場において、1)参院選の結果と憲法闘争の展望、2)自民党「憲法改憲草案」の内容について、集団的な学習活動を展開しましょう。等の4点です。

また兵庫憲法会議は、下記のように憲法会議の総会を予定しています。

兵庫憲法会議 総会のお知らせ

日時:9月15日(木)

18時から開会します。会場は高教組3階ホール。問題提起は津川和久代表幹事。

意見交換は、「参院選と今後の日本」をテーマに、参加者で徹底討論します。